

NITS・教職大学院等 コラボ研修プログラム 支援事業報告書	千葉大学教職大学院公開講座 教育現場の最新事情～現代的教育課題への具体的取組～ 開催日時：令和5年8月19日、12月3日 いずれも8:40～16:30 開催場所：千葉大学教育学部（千葉県千葉市弥生町1-33）2号館講義室等 参加人数と参加者の属性：延べ151人 （現職教諭58人、学校管理職34人、教育委員会等関係者25人、教職大学院生31人、他） ※申込者は207人であったが、体調不良等での欠席があった。
--------------------------------------	---

内容：

(1) 目的

教員免許状更新制の発展的解消に伴い、すべての教師に継続的な学びの契機と機会を提供するために、教職大学院専任教員等による講義を校外研修の一つとして開放する。教師自らが最新の知識や技能を習得すると共に、「令和の日本型教育」を担う「教師の新たな学びの姿」を実現するための研修として位置づけ、教師に必要な学びの環境の充実を図る。

(2) 講座の内容

本学教職大学院の専任教員等が自身の研究分野と関連した内容について、パワーポイント等を用いて講義を行った。

8月19日（土）

- ・学校の国際化の現状と課題 千葉大学グランドフェロー 土田雄一
千葉大学大学院国際学術研究院 准教授 小林聡子
- ・不登校児童生徒の理解と支援 千葉大学教育学部 教授 笠井孝久
- ・教員のための対人関係心理学 千葉大学教育学部 名誉教授 保坂 亨
- ・教室におけるストレスマネジメント 千葉大学教育学部 准教授 西口雄基
- ・子どもを軸とした地域と学校の『協働』づくり 千葉大学教育学部 准教授 丹間康仁

12月3日（日）

- ・『令和の日本型学校教育』が問いかける学校経営-知・徳・体を一体で育てるよさを維持する- 千葉大学教育学部 名誉教授 天笠 茂
- ・個別最適な学びと協働的な学びを実現する ICT 活用 千葉大学教育学部 助教 八木澤史子
- ・判例から学び学校の危機対応 千葉大学教育学部 教授 大野英彦
- ・学校における被害（災）者支援—事件事故とこころのケア— 千葉大学教育学部 准教授 磯邊 聡
- ・学力データからみる低学力克服への視座～日本版『効果のある学校の取組』～ 千葉大学教育学部 教授 貞廣斎子

(3) 開催日程や運営等

開催日としては、学校現場の教職員が校外での研修を受けやすい夏季休業中に1回、冬季の日曜日に1回の開催とした。

参加者のニーズに応えるため、講座の内容には多様性を持たせた一方で、朝8時40分から16時30分までに5講座を詰め込んだため、「受講者にとっては厳しい日程ではないか」という議論もあった。初年度（2022年度）の講座後のアンケート調査では、「夏季休業中（冬季は休日）の開催で、とても参加しやすかった。」、「タイトなスケジュールだったが、様々な内容について学べてよかった。」、「1日で5講座というのは確かにハードだが、複数日に分散してしまうと予定をつけるのがむしろ困難になってしまう。」、「1日に詰め込んでいただいた方が参加はしやすいと考える。」といった声が多く、2年目（2023年度）も同様の日程とした。

成果：実施後のアンケート調査結果から

- 内容の満足度・・・とても満足 84.3%、満足 15.7%、やや不満・不満 0%
「とても満足」、「満足」の理由は次のとおりであった。

<第1回及び第2回のアンケート調査より抜粋>

- ・学校現場にいと目の前のことに追われてなかなか学べないが、最新のデータや豊富な経験をもとにした新しい知見や情報を得ることができた。
- ・テーマもさることながら、新しい着眼点を多く得られた。
- ・自分自身の教育に関する視野を広げることができた。
- ・現在の学校教育が抱える課題の解決の糸口、対応の方法を考えることができた。
- ・講座の内容が学校現場ですぐに活用できる内容であった。
- ・最新の教育に関する知識や動向、日常の教育活動の振り返りとして、学びを深められた。
- ・新しい知見や学びが多く、業務に生かせる内容が多かった。
- ・令和の日本型学校教育を実現させるために、私たち教師に求められている資質・能力や組織の在り方などを多く学ぶ機会となった。
- ・学校経営の視点、これからの授業づくりにおける大切なポイントを示していただき、学びが多かった。
- ・昨年も受講したが、さらなる学びがあり、知見を広げることができた。

一方で、「質疑応答の時間があるとよかった」、「各講座とも濃い内容だったので、次回は半日で（じっくりと）受講してみたい。」といった声もあった。

- 受講した感想 ※割合（%）は、複数回答を可とした上で、回答数を回答者数で割ったもの
 - ・教育の最新事情を知ることができた 71.5%
 - ・現代的教育課題への対応を知ることができた 82.6%
 - ・実践的指導力を養うことにつながった 5.2%
 - ・児童生徒への指導・支援に還元することができそうだ 50.0%
 - ・職務能力の向上に役立った 57.6%
 - ・学びの契機となった 54.7%
 - ・今後のモチベーションアップにつながった 47.7%
- 「教育現場の最新事情について知ることができた」、「現代的教育課題への対応を知ることができた」の項目への回答が、特に多かった。

アイデアや工夫したこと：

- ・昨年度同様、現職教員が参加しやすいように夏季休業中及び週休日に開講した。また、今年度は受講しやすいように、参加申込みを午前と午後で分けたこともあり、参加申込者数は増えた。
- ・多忙な現職教員の効率的な時間の使い方を考え、2日間で多くのことを学べるプログラムとした。タイトなスケジュールを心配したが、アンケート調査ではこの方がよいという声が多数あった。
- ・千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援をとり、千葉県内全公立学校にチラシを配付した。

<写真・図など>

<学校等へ配布したチラシ>

【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】
 令和5年度 千葉大学教職大学院公開講座
教育の最新事情
 ～現代的教育課題への具体的取組～

千葉大学教職大学院等の教員による公開講座を開催します。
 「学び続ける教師」の具現化をめざし、各分野の専門家が講座を担当します。最新の知識や技能等を得るための研修として、また、継続的な学びの機会として、ぜひお役立てください。この公開講座は、教職員支援機構(NITS)とのコラボ研修プログラムとして開催します。

◆日時 第1回 令和5年 8月19日(土) 8:50~16:30 ※今年度は半日単位の受講申込みです
 第2回 令和5年12月3日(日) 8:50~16:30

◆会場 千葉大学教育学部2号館 2111教室他

◆対象者 教職員・学校管理職・教育委員会関係職員等

◆募集定員 各回70名(定員になり次第締切)

◆受講料 無料

◆申込(予定)

【第1回:8月19日(土)】

<午前>講座① 学校の国際化の現状と課題 千葉大学 グランドフェロー 土田 雄一
 千葉大学大学院国際学術研究院 准教授 小林 聡子
 講座② 不登校児童生徒の理解と支援 千葉大学教育学部 教授 笠井 孝久

<午後>講座③ 学校教育と出席/欠席 千葉大学教育学部 名誉教授 保坂 亨
 講座④ 教室におけるストレスマネジメント 千葉大学教育学部 准教授 西口 雄基
 講座⑤ 子どもを軸とした地域と学校の『協働』づくり 千葉大学教育学部 准教授 丹間 康仁

【第2回:12月3日(日)】


<午前>講座① 『令和の日本型学校教育』が問いかける学校経営
 →知・徳・体を一体で育むよさを維持する 千葉大学教育学部 名誉教授 天笠 茂
 講座② 個別最適な学びと協働的な学びを実現するICT活用
 千葉大学教育学部 助教 八木 渾史子

<午後>講座③ 判例から学ぶ学校の危機対応 千葉大学教育学部 教授 大野 英彦
 講座④ 学校における被害(災)者支援 -事件事故とこころのケア-
 千葉大学教育学部 准教授 磯邊 聡
 講座⑤ 学力データからみる低学力克服への視座 千葉大学教育学部 教授 貞廣 資子

※日時や内容を変更する場合は、千葉大学教育学部H12にてお知らせします。

◆主催 千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻

◆後援 千葉県教育委員会・千葉市教育委員会(申請中)



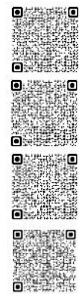
【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】
 令和5年度 千葉大学教職大学院公開講座
参加申込み方法

下記の申込みアドレスまたは二次元コードから
 各回の参加フォームにてお申し込みください。
 複数回の申込みも可能です。

【申込みアドレス】
 第1回 8月19日(土) 午前
<https://forms.gle/eFHdxinFm28KRY9>
 第1回 8月19日(土) 午後
<https://forms.gle/LW6bVyG1na3UzWb68>
 第2回12月3日(日) 午前
<https://forms.gle/PsoZjtsKPKNaqXbR7>
 第2回12月3日(日) 午後
<https://forms.gle/MLYEBGe7aP3fS31C6>

【申込み期間】
 令和5年7月18日(月)~
 ※定員(70名)になり次第、先着順で締め切ります。

【問合せ先】
 千葉大学教育学部附属教員養成開発センター 相談室
 メールアドレス:soudansitu@office.chiba-u.jp
 電話番号: 043(290)2696



<当日の配布資料>

【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】
 令和5年度 千葉大学教職大学院公開講座
教育の最新事情
 ～現代的教育課題への具体的取組～

「学び続ける教師」の具現化をめざし、各分野の専門家が講座を担当します。最新の知識や技能等を得るための研修として、また、継続的な学びの機会としてください。本講座は、独立行政法人教職員支援機構(NITS)とのコラボ研修プログラムとして開催します。

1 講座の内容及び日程

第2回:12月3日(日) (受付 8:30~)

開会 8:50~
 講座① 9:00~10:30(90分)
 『『令和の日本型学校教育』が問いかける学校経営
 →知・徳・体を一体で育むよさを維持する』 千葉大学教育学部 名誉教授 天笠 茂

講座② 10:40~11:40(60分)
 『個別最適な学びと協働的な学びを実現するICT活用』
 千葉大学教育学部 助教 八木渾史子

<休憩 11:40~13:00(80分)>

講座③ 13:00~14:00(60分)
 『判例から学ぶ学校の危機対応』 千葉大学教育学部 教授 大野 英彦

講座④ 14:10~15:10(60分)
 『学校における被害(災)者支援 -事件・事故と心のケア-』
 千葉大学教育学部 准教授 磯邊 聡

講座⑤ 15:20~16:20(60分)
 『学力データからみる低学力克服の視座』 千葉大学教育学部 教授 貞廣 資子

【コーディネーター】 千葉大学教育学部 松井 聡、伊藤裕志、土屋明子

2 会場 千葉大学けやき会館 大ホール ※千葉大学正門を入った左手の建物です。

3 対象者 教職員・学校管理職・教育委員会関係職員等

4 受講料 無料


5 主催 千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻(千葉大学教職大学院)

6 後援 千葉県教育委員会、千葉市教育委員会


7 留意事項 ・体調不良のある方は、ご参加をお控えください。
 ・講座開催中は、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードに設定してください。
 ・当日は、学内の食堂等は営業していませんのでご了承ください。けやき会館3階の部屋での昼食時の飲食は可能です。
 ・講座開催時の録音・写真撮影はお控えください。

8 その他 講座終了後、アンケートにご協力ください。
 下記のURL 又は 二次元コード から回答をお願いします。


① 12/3(日) 午前
<https://forms.gle/fuQHjyvjv62oJkIjg8>



② 12/3(日) 午後
<https://forms.gle/sfKFPqEKprf1n4fg8>



【教職員支援機構とは】
 独立行政法人教職員支援機構は、教職員に対する総合的支援を行う全国拠点として、国の教育政策上 必要とする研修の効果的な実施や調査研究等を通じ、教職員の資質・能力の向上に寄与する組織です。英語表記である「National Institute for School Teachers and Staff Development」から「N. I. T. S.」の頭文字を取って、「NITS(ニッツ)」を略称としています。



<講座の様子>

